

話題満載

第20回だけのこまつり

とっても楽しみな

このたけのこのまつり

4月29日「第20回たけのこまつり」が晴天に恵まれる中、町内外から3万人が訪れて、行われました。



例年に比べて一週間遅れの開催と裏年の影響で、筍の出荷量が昨年の3分の1程度と、ちよつぱり寂しい開催でした。しかし、ゴールデンウィーク中の開催ということもあって、お客さんの出足が早く、会場は大賑わい。各出店も長い列が出来るほどの大盛況で

した。

ステージでは、中学校吹奏楽部合同の演奏がオープニングを飾り、望月信行実行委員長の開会宣言でお祭りの幕がきって落とされました。太鼓の演奏



太鼓は好き? 「ううん」



キャラクターショー、ものまねショー

等が次々に行われ、ステージ前には子供からお年寄りまであふれる程の人達が集まりました。どのステージも笑いで包まれる演技者・観客が一体となっ



ホラッ こーでしょ

た楽しいものとなりました。
お祭り開催にご協力いただきました
皆さん、ありがとうございました。



誰?歌わなきゃわかんない



客席にもこわい...

たけのこまつり

親善ゲートボール大会

「お茶」の収穫に併せて行われました。

4月28日「たけのこまつり」に先駆けて、町老人クラブ連合会等が主催する親善ゲートボール大会が万沢西行のゲートボール場で行われました。

町外からの9チームを含めた16チームが参加して、南部町の「たけのこ」「お茶」の収穫に併せて行われました。またこの大会は、町外参加者が特に楽しみにしている大会で、今年も参加者に筒ご飯が振舞われ、熱戦の合間のひと時を新緑と美味しいご飯で、和やかに楽しく過ごしていました。



あれ くら やだー

交通安全教室

青確認 左右確認 さあ急げ



すみやかにー けど走らなーい

新年度がスタートし、各小学校の入学児童を対象に交通安全教室が行われ、歩行訓練や自転車の正しい乗り方等を南部警察署員・町交通指導員が丁寧に指導しました。

4月20日には、役場本庁舎横の信号で富河小学校の児童が、安全な横断歩道の渡り方を実践し、信号だけに頼らず、自分の目でしっかりと確認することの大切さを学びました。ちよっぴり自信のついた子供たちの表情が印象的でした。

ゆずり合う気持ちを大切に交通安全を心がけましょう。

親子陶芸教室

手の温もりを 粘土に込める

5月3日「親子陶芸教室」がアルファセンター陶芸室で行われました。

これは、福祉保健課が主催して行ったもので、普段なかなか触れることの出来ない粘土に触れ、思い思いの作品に親子で取り組みました。南部陶芸教室会員の指導で「こねる・形作る・仕上げる」を丁寧に楽しく行いました。こね始めた粘土が温かく・柔らかくなり、好きな形になった時には、参加者はみんな大はしゃぎ。可愛い模様をつけて大満足。焼き上がりがとても楽しみな陶芸教室でした。



だんだん出来るぞ

たけのこ掘り体験

一本掘るのに 四苦八苦



これで きまりだー

町内の中学3年生を対象に恒例となっている「たけのこ掘り体験学習」が産業振興課の主催で行われました。

これは、町内のたけのこ園の協力により実施されていて、5月9日には南部中学校の生徒が、慣れない腰つきで恐る恐る鍬を振りました。一人が2・3本の筒に挑戦。最初はなかなか筒が抜けずにいた生徒たちも、徐々に要領を得た様子で、筒の頭の向きを見ながら力強く鍬を振り下ろす様になりました。

望月友美さん

コンサート

ふるさとに響きわたる 最高の歌声

5月3・4日 昨年10月の日本音楽コンクール声楽部門で1位に輝いた本町出身の音楽家望月友美さん（柳島）のコンサートが文化ホールで盛大に行われました。

これは、望月友美コンサート実行委員会（市川泰会長）が主催して実現したもので、町内外から訪れたお客さん

で2日間ともにホールは超満員。会場に流れる美しいメゾソプラノの歌声に観客はうっとり。身体全体で表現する友美さんに全ての観客が引き込まれるように聞き入っていました。

また、時折見せるユーモラスな演出にも敏感に反応し、ホールは大歓声に包まれていました。終了後も、素晴らしい歌声と友美さんのさらなる活躍を祈って、盛大な拍手が鳴り止みませんでした。



身体全体で表現

子どもの日製作教室

小さくても

立派な鯉のぼり



ま-わ-れ-

5月5日 「子どもの日製作教室」が南部図書館で行われ、たくさんのお親子が集まり、考えながら行う製作教室となりました。

教室では、紙芝居で楽しんだ後に「ストーリー鯉のぼり」の製作を行いました。簡単そうに見えてなかなか上手に回らない鯉のぼりに、子供も親も悪戦苦闘。指導員までもが「あーでもない、こーでもない。」と、いろいろ試して実践し、最後にはどの鯉のぼりも、「フーン」と一息。くわんわんを回し、大成功の教室となりました。

端午(たんご)

五月五日「端午の節句」

端午というのは、もとは月の端（はじめ）の午（うま）の日という意味で5月に限ったものではなかったようです。しかし、午と5の音が同じなので、毎月5日を指すようになり、やがて5が重なる重5の日、5月5日に厄払いをする日として定着したようです。また、武士の間では尚武（しょうぶ）の気風が強く、「菖蒲」と「尚武」をかけて、端午の節句を尚武の節日として盛んに祝うようになりました。これが男の子の節句となりました。これが男の子の節句となりました。



こりゃ まわらん